

各区図書館の取組み状況（案）へのご質問まとめ

No.	該当頁	質問	質問に対して(事務局の回答)																				
1	全館	貸出点数 予約点数 レファレンス受付件数 来館者数 について統計が出されています。その増減について、その原因とされる事象（例えばコロナ禍の影響など）をどのように考えておられるのか？ 図書館の取組みとの関係はどうか？職員の方の分析を伺いたいです。	年度末の正式な統計結果及び取組結果を踏まえて検証し、総括として評価への記載を検討します。																				
2	全館	レファレンスについては、図書館の役割の大きい部分だと思っておりますので、堺区や東区のように大幅に受付件数が増えているところは、どのような相談（問い合わせ）が増えているのか？ そのことと図書館の取組みが関わっているのかどうか？ 数値だけでは読み取れないので具体的な内容を示していただくと、そのことから利用者がどのようなニーズを持っているのか見えてくるのではないかと思います。 そこから地域のサービスの在り方についてつなげていくことができるのではないかと考えます。	レファレンス件数について、新型コロナウイルス感染症の流行により減少しておりました(12館合計:令和元年度90,051件、令和2年度61,394件)が、徐々に回復傾向にあります。 東区では、前年度に比べ、来館者数が増加していることもあり、所蔵調査などのクイックレファレンスも増加しています。 具体的な問い合わせの内容については多岐にわたりますが、展示にまつわるものに加え、地域資料関係や明治以前の文化、楽譜・絵本や子どもの調べものなどに関することが多い印象です。 堺区について数値が誤っておりましたため、図書館サービス評価 各区図書館の取組み状況案p.2のレファレンス受付件数・前年度比を修正しました。																				
3	全館	図書館利用アンケートの実施は年にどの程度されていますか？ 幅広い年齢層の利用があるので、PC・SNSだけではなく紙のアンケートもなくさないでほしいと思います。	利用者アンケートは年1回、毎年11月頃に実施しています。昨年度から電子と紙配布の二通りの手法で実施しており、今後も電子と紙による二通りの手法を継続予定です。																				
4	堺区 p.5	分館共有資料について、新刊資料を共有資料として所蔵館を固定しない運用を試行とのことだが、所蔵館が指定されていると、どのようなデメリットがあり、どうなることを目的として取り組むことになったのか。	令和3年度 来館者アンケート調査の結果、満足度が最も低いのが、「本の種類や数」への満足度でした。また、分館はスペースが限られていることから蔵書の数も限られます。一般書の一部の資料を共有として分館間を日常的に移動させることにより、書架の新鮮さを高めて利用者の方へ魅力ある書架を提示することを目的に、今回の試行を行っています。																				
5	堺区 p.6	コンビニエンスストア返却取次事業については、試行実施の結果を分析し、今後に向けた取組を検討する。と記載がありますが、検証結果をふまえ全市で展開する可能性はありますか？	ご質問のとおり、今回試行実施したエリア以外での新たな場所で事業展開する可能性はあります。																				
6	堺区 P.6	コンビニでの返却事業について6か月間実施したのに数字上では前年度比での効果が見られないことが残念です。利用者の年代の割合はわかりますか？	期間中の返却冊数は9,780冊、延べ利用者数は3,266人であり、期間終了まで増加傾向であったことから、事業の効果があったと考えています。 本事業における利用者の年代別割合は以下の通りです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>10代未満</th> <th>10代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>70代</th> <th>80代</th> <th>90代以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8%</td> <td>6%</td> <td>6%</td> <td>11%</td> <td>24%</td> <td>22%</td> <td>14%</td> <td>7%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	8%	6%	6%	11%	24%	22%	14%	7%	2%	0%
10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上														
8%	6%	6%	11%	24%	22%	14%	7%	2%	0%														
7	堺区 P.6	ティーンズコーナーは書架があるだけのようですが、どれだけの認知度や利用数があるのでしょうか。 高校生は棚づくりをするほかに、どのような活動や交流をしているのでしょうか。	通常のティーンズコーナーとは別に、各生徒による一箱本棚の作成、テーマ展示、POP展示、高校生による選書を行いました。学校ごとに特色が出るよう、棚見出し等にも工夫をこらしました。利用に結び付くよう、読書・学習席(自習席)にコーナーの案内を貼付するなどの工夫もおこないました。図書館での展示をご覧になった市民から、高校に直接感想の電話が入るなど、認知度は徐々に上がってきていると感じています。																				
8	堺区	施設利用についての図書館利用者からの意見、改善してほしい等、利用者アンケートの項目(その他)で、市民より要望があったか。	図書館の建替え、バリアフリー対応、自習スペースの拡張、椅子の更新・増設、空調の整備、ウォータークーラーの設置、などの要望がありました。																				

9	堺区		1階にあるカウンターの活用方法を検討された事がありますか？	開館当初は1階ロビーに貸出部門があり、そのカウンターとして活用していましたが、その後貸出部門が2階に移ってからは警備員用のカウンターとしてのみ使用しており、他の活用について検討はしておりません。
10	中区	p.13	「ティーンズコーナー」の1ヶ月平均利用者数を教えていただけませんか？	令和6年1月に設置したため、まだ平均値は取れませんが、設置から2月15日時点までで75冊貸出に出ています。
11	中区	p.10	プラネタリウムとの連携で定員は何名でしょうか？想定通りだったのか想定以上だったのか？	プラネタリウム自体の定員は140名ですが、座席配置(位置)から定員を70名に設定しました。参加者数は37人でしたが、初めての試みとしては、想定以上に来ていただいたと感じています。今回の参加された方からは次回開催を求める声もいただいております。3月実施を含め、継続していきたいと考えています。
12	中区		学校との連携についてどのような形でいつ頃からされているのか？	教職員支援の取組については以下のとおりです。 ・平成28年～令和4年 教職員向け団体貸出サービス ・令和元年～ 研修時の資料展示 ・令和3年～ 教育関連資料ブックリストの発信 (「教育情報コーナー新着リスト」「教職員支援用ブックリスト」)
13	東区	p.18	旅鉄プランの定員は何名でしょうか？	定員は小学生20人とその保護者です。小学生19人、保護者と合わせて41人の参加がありました。
14	東区	p.18	子ども司書の具体的な活動を教えてください。	おすすめの本のPOPを作成して展示、利用者に見てもらふことなどは毎年の活動で実施をしています。加えて今年度は、8月に「絵本の読み聞かせ発表会」で読み聞かせの実演をもらい、1月には「本の福袋」のイベントで、おすすめの本の選定とプレゼントのしおりの作成などをしてもらいました。また、3月開催予定の「東図書館春のうきうきフェスタ」でも活動していただく予定で調整中であり、今後も継続した活動の場をもつことができるよう検討しています。
15	東区	p.18	子ども司書養成講座は昨年と比べて多いのか少ないのか？	昨年度と比べて多いです。(令和5年度は1回目7人、2回目6人ののべ13人の参加) 令和4年度はのべ4人(1回目2人、2回目2人)の参加でした。
16	東区	p.21	オールヒストリーの成果物はその後どう活用もしくは発信したのでしょうか。	聞き取り資料(動画、音声、画像データ)については、年度末を目途に大学から提供予定であり、その後図書館資料として整理・活用する予定です。記録・成果物作成の過程においても参加の機会を検討しています。
17	東区	p.22	高校生たちはPOP作成などの活動をして楽しんだのか、どんな学びを得たのか、どんな交流が生まれたのかなど、アンケートなどは取ったのでしょうか。	POPについては登美丘高校1年生全員が作成し、高校文化祭で展示発表していると聞いています。その後図書館で100点程度選り1年間展示し図書館利用者に楽しんでもらっております。今のところ図書館から高校生にアンケートなどは実施しておりません。
18	西区	p.26	西区内幼保施設、子育てサークルへの広報のターゲットを増やしていく具体的な方法を教えてください。	4階図書館利用も含めたサービス案内を作成し、西区子育て支援関係者会議の場で広報を行いました。今後は、西区子育てMAP掲載の子育て関連機関へ、上記会議の際に配布した案内を郵送するとともに、近隣施設へ個別訪問を実施する予定です。
19	南区	p.31	南図書館では日本語学習資料、英語多読資料を継続して収集する方向ですが、外国人利用が増えているのでしょうか？	登録時に国籍や出身国の確認はしていないため、数値としては把握しておりませんが、3階の集会室で日本語教室を行っている団体が複数あり、その教師や生徒が貸出に来ている様子などは見受けられます。各区基礎データに追記しておりますが、市内外国人総数に対する区別外国人割合において、南区は、堺区(33%)に次いで、20%と、2番目に多い区となっております。

20	南区		多言語でベトナム語は書かれていなかったが、何語の話者がどれくらいいるのか、人数やニーズをきちんと把握して、多言語サービスに取り組んでいるのか。	市の統計では、外国人住民の数はベトナム国籍の方が25%を占めており、中国国籍に次いで多くなっています。このことから、ベトナム語話者向けの日本語学習に関する資料について約50点を提供しています。また、「いろいろなことばでえほんをたのしもう！」においては、読み聞かせはできませんでしたが、えほん広場にてベトナム語絵本も展示しました。
21	北区	p.39-40	さかい子ども司書養成講座の周知方法を教えてください。	広報さかい、図書館HP、X（旧Twitter）、ポスター、チラシで周知しています。
22	美原区	p.47	少林寺の介護イベントは何名参加したのでしょうか？	21人でした。図書館サービス評価各区取り組み状況(案)該当箇所を修正しました。
23	美原区		美原図書館の課題はアクセスにあるとおもいます。現在のところ、利用者の公共交通機関でのアクセスの主だったものを教えてください。	公共交通機関としては、南海初芝駅、大阪メトロ新金岡駅、近鉄河内松原駅からバスがあります。少し古い調査ではありますが、平成29年11月の来館者調査では、自家用車・バイク・原付が51.3%、徒歩・自転車41.8%、公共交通が3.4%でした。（残りは不明・回答なし）

各区図書館の取組み状況（案）へのご意見まとめ

No.	該当頁	意見	回答
1	全館 別紙	参考資料の各区外国人の人数は、割合で表したほうが地域の特性が判りやすく比較しやすいと思う。	次年度図書館サービス評価の作成に当たり、参考とさせていただきます。
2	全館	<p>読書バリアフリーにむけての取組みがほとんど報告されていないことは少々残念に感じます。シニアから乳幼児まで あらゆる世代に向けての取組みや、他国籍の方に向けての取組みも含めて視点を変えればバリアフリーにつながる取組みもあると考えられるのではないのでしょうか？</p> <p>子ども向けの取組みが多いのですが、その際に障がいのある子どもたちについても参加可能であること、受け入れ態勢を整えることと併せてPRしていくこともお願いしたいです。参加した保護者から新たに要望も出てくることもあろうかと思えます。</p> <p>バリアフリーに向けての取組みは施設環境を整える必要があることから予算を伴うものと捉えられがちですが、まずは、そのニーズがどこにあるか探るところからではないでしょうか？近隣の支援学校や就学前の発達支援センター・健康福祉プラザなどの連携（職員研修を含む）などから、どのようなニーズがあるかを探っていただくことで取組みの方向が見えてくることもあるのではないかと思います。</p>	<p>図書館の利用に障害のある方へのサービス推進については、関係機関や団体などの連携が重要であると認識しております。</p> <p>今年度の取組としましては、例年ではありますが、堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター 点字図書館からの依頼により音訳・点訳合同講習会へ職員を講師として派遣し、また、障害のある方など来館が困難な方を対象とした資料配送サービス実施に向け準備しております。</p> <p>ご意見は、次年度取組の参考とさせていただきます、今後もあらゆるサービス・取組において、多様な市民の利用を想定して取り組んでまいります。</p>
3	全館	<p>図書館協議会の中で、今回、出されているような各図書館の「取組み状況」について示されているように細かく検討することはどのような意味があるのでしょうか？</p> <p>実際には意見を出すことが難しいので、検討の仕方も含めて、一般市民の協議会へのかかわり方として考えていただきたいと思えます。</p> <p>（報告として読ませていただくことはそれでいいとは思いますが、個別に意見を出すのは難しいです。）</p> <p>図書館から、どのようなところに意見が欲しいのか問題提起があってもよいかと思えます。</p> <p>一方で、他の方（協議会の委員の方や一般の利用者）からのご意見や要望がどのような形で出されているのかも知らせていただければ、改めて考えていけるところもあるのだろうと思えますので、次回の会議で教えていただけるといいかと思えます。</p>	<p>前回協議会にて資料もお渡ししておりますが、図書館法第7条の3を受け、図書館サービス評価を行っております。市民目線も含め、様々な立場から意見をいただければと考えております。</p> <p>図書館サービス評価を通じて、協議会委員の皆様にも様々な立場からのご意見をいただき、図書館側はそれら意見を可能な限りサービスに反映していくことで、図書館全体のサービス向上に取り組んでいます。これからも出せる範囲で、サービス向上のためにご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。</p> <p>図書館サービス評価は協議会での検討を経て平成28年度事業を対象に開始し、協議会の意見も踏まえて修正を重ねて参りましたが、次年度図書館サービス評価について、形式、記入方法等の変更を検討しております。その作成に当たり、参考とさせていただきます。</p> <p>また、いただいたご意見、質問はまとめて資料としてお渡しします。</p> <p>（※）図書館法第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない</p>
4	全館 p.25	(西区に対して)堺区など他の区の図書館にもいえることですが、令和4年度と比較して貸し出し点数が減っている理由は記した方がよいかとおもいます。	<p>全国的な傾向として、近年の貸出点数は減少傾向にあります。堺市立図書館も、新型コロナウイルス感染症流行前から微減の傾向がある中、令和2年度に激減しました。全館の傾向として、令和3年度・令和4年度と回復の傾向にありましたが、令和5年12月末時点では減少となっています。</p> <p>年度末の正式な統計結果及び取組結果を踏まえて検証し、総括として評価への記載を検討します。</p>

5	堺区	p.3	ホームページですが、おおいに期待をしてアクセスしてみたところ、見やすくOPACも利用しやすいと思いますが、全体的にデザインが古くあまり魅力的ではないように思いました。そしてバリアフリー対応も十分にできていないなど、多くの課題があると思います。 2023年度はどこをどう改善なさったのか、これからの課題として次の改善をどうはかるうとしているのかもっと具体的に書いてほしいと思いました。	ホームページデザイン及びバリアフリー対応などの機能については、本市ホームページと連動しており、図書館ではページ内の文章や挿入画像・表などのみを変更可能となっています。 今年度は分かりやすさ・見やすさの観点から、いくつかのページ内での文章表現や使用する図などを見直し改善を行います。具体的には、利用案内、調べもの、こどものページ、ボランティアページなどです。今年度中に公開する予定となっております。 今後もPC画面や、スマートフォン画面の両方から分かりやすく・見やすいページ作成を心掛けていくとともに、ほかのページについても継続して改善・更新をしていきます。
6	堺区	p.3	図書館ホームページアクセス数は1,597,097回(令和5年12月末時点。令和4年度2,388,803回)とありますが、実際のところ何人が訪れたかユーザー数も記載した方がよいかとお	どのユーザーがアクセスしたかという記録をもたないため、ユーザー数は把握できません。
7	堺区	p.6	高校との連携ですが、「協同」「協働」と表記が統一されていないので、ふさわしい方に統一した方が良いと思います。	図書館サービス評価 各区図書館の取組み状況案p.6にて、修正しました。
8	堺区	p.7	改定HPの図書館サポーターに関する写真一例は内容を構築した上で掲載する方が良い。書架整理だけではどのような作業が含まれるのか、わかりにくい。(実際にはどの程度されているのかもわかりにくい)	ホームページ改訂作業の参考とさせていただきます。
9	堺区		子ども室の取り組みの発信がない、季節やテーマに合った本の展示を(ガラスケース等)、タイムリーに選書し、貸出につなげていると思う(一例)。	次年度図書館サービス評価の体裁検討に当たり、参考とさせていただきます。
10	中区		「職員室文庫」をつくるなら、学校図書館の中にそうしたコーナーを作成したほうがよいのではないのでしょうか。その方が教員が学校図書館に行く機会が増えますし、より多くの資料と出会い視野が広がります。	職員室文庫については教員向けの資料を配架しています。また、そうした資料が、身近(手元)にあれば利用が高まるのか等を検証するために実施しました。そのため、設置場所を職員室内としました。
11	中区	p.16	(令和5年度の取組総括)「学校との連携の一環として、教職員支援の充実に向け取り組んでいく必要がある。」の内容はとても良い取り組みで、どのような様子だったのか、内容の記載がもう少しある方がよい。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。
12	中区	p.11	実施結果6行目に「アスマイル利用者(217人)」とあるが、「アスマイル」の説明が欲しいです。	「アスマイル」は、大阪府が提供しているスマートフォン向けの健康アプリです。健康づくり活動を記録すると、ポイントを貯めることができます。 図書館サービス評価各区取組み状況(案)に追記しました。
13	中区	p.12-13	大阪公立大学の協力を「内容」にも示すほうがよい。また学部まで記入する、教員が協力したのか、学生が協力したのか明記するほうがよい。 大学生ならティーンズと年齢が近いので今後も持続可能な仕組みを作って、継続することが期待できる。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。

14	中区	p.16	「ぬいぐるみおとまりとしょかんツアー」の内容やプログラムを知りたい。全国的にも評価の高いイベントのようで、他の館でも実施を検討してみてもどうか。	内容としては、お子さんからぬいぐるみをお預かりし、お預かりしたぬいぐるみに図書館探検ツアーに参加してもらいました。おはなし会への参加や書庫の探検、お泊りなど、ぬいぐるみがツアーに参加している様子を写真に取り、お迎えのお子さんにはアルバムをプレゼントしました。ぬいぐるみが選んだ絵本を借りてもらうこともできました。 各館の状況も踏まえ、検討いたします。
15	東区	p.18	子ども司書養成講座の内容を具体的に書いてほしい。 保護者向け講座と一緒に書かれているが、両者がごちゃまぜになっているので、区別できるように分かりやすく書いてほしい。	子ども司書養成講座の具体的内容については、同内容の質問があったため、質問欄に回答を記載しました。 また、図書館サービス評価各区取組み状況(案)にて、表現を修正しました。
16	東区	p.20	大阪大学との連携の学部名までは明記する方がよいと思います。 基本的に公立大学もそうですが、学部の集合体なので、各学部の特色があります。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。
17	東区	p.20	新たに東図書館の特色ある資料である「ビジネス支援コーナー」を充実するために記載がありますが、なぜ？ 北区や堺区ではなく東区図書館ではビジネス支援コーナーが特色ある資料なのか説明があった方がよいかとおもいます。	東図書館では、開館当初よりビジネス書コーナーを開設しております。駅からペDESTリアンデッキでつながれた駅直結型で、キャレルデスクなどを設置している滞在型の図書館として、ビジネスパーソンにも活用していただけるよう資料の充実に努めています。 またビジネス書コーナー内に「ビジネス支援情報コーナー」を設置、関連部局と連携して、新しいビジネス情報や就業情報を継続して提供できるよう、また相互に広報し利用促進につなげることができるよう今年度は取り組みをいたしました。
18	東区	p.20	実施結果2行目の「もしバナゲーム」はあまり聞き慣れない言葉なので、「と」の後に空白を入れて、「と もしバナゲーム」とした方が判りやすくなると思う。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。
19	西区	p.26-27	昨年と比べて〇〇%増と記していますが、具体的な人数を示した上で〇〇%増と示すべきだと思います。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。一部新しいデータに差し替えています。
20	西区	p.27	実施結果のところを取組の様子の写真があった方がよい。	次年度図書館サービス評価の体裁検討に当たり、参考とさせていただきます。
21	西区	p.27	連携機関数は参考までに名称を列挙してはいかがでしょうか？名称が無理ならカテゴリーの数だけでも示してはいかがでしょうか？ どのような連携ができるのか他の図書館の参考になると思います。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。また連携予定が増えたので、予定も含め連携機関数を17から20に変更しました。
22	西区	p.29	「学びと交流の広場」はどこにどのくらいの広さで設置されているのかわからなかった。学習席とラーニングスペースとは同じなのか、別のものか、写真に写っている部屋は広場の一部なのか、申し訳ありませんが、図書館を見学していない私にはまったく見当がつかせませんでした。	「令和4年1月に西図書館2階部分にオープンした「学びと交流の広場」は、絵本をならべて親子が一緒に読書を楽しめる「ほんのえき」、パーティションを使用して様々なサイズの部屋としても使える「ラーニングスペース」などの場所があります。「ラーニングスペース」のうち、区切られていない部分と、部屋として使える「ラーニングC」を読書・学習席として利用できます。」 上記の記載を図書館サービス評価p.29「取組の様子」の写真横に付記しました。なお、区切られていない部分は、グループ利用やおしゃべりができる席、「ラーニングC」は私語禁止で静かにしていただく席と使い分けています。 参考資料として、西図書館2階オープン時のチラシを参考資料として配布します。図書館HP施設一覧 西図書館ページにも掲載しています。

23	西区	p.29	新たに作成した画展スペース コーナーだけでも画像の紹介をしてはどうか。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。
24	南区		高齢者が多い地区だと思うが、高齢者サービスについての記述が少ないように感じた。 歴史文化市民講座は高齢者がサポートでなく、講師として関わったり、豊かな知識や経験を存分にいかせてもらえる取り組みなどはあるのか。	南図書館集会室では、地元の歴史研究者を中心とした歴史講座をはじめ、高齢者が多く参加する講座が定例的に開催されています。また、施設内に老人集会所もあることから、高齢者自身の自主的な活動がされていると考えられます。
25	南区	p.32	利用者アンケートの「本や雑誌の種類や数」の満足度（平日・休日合計）を昨年度と比較すると、梅で3.09→3.48、美木多で3.28→3.48と上昇している理由を記載してほしいです。	様々な理由が考えられますが、分館共有資料の認知度を高める取り組みを行ったことが理由の一つではないかと考えます。例えば、点数の増加に合わせたコーナーの新設やSNSで発信などを行いました。結果、利用者アンケートの「本や雑誌の種類や数」の満足度（平日・休日合計）を昨年度と比較すると、梅で3.09→3.48、美木多で3.28→3.48と上昇しています。
26	北区	p.38	実施結果の「北区子育てフェスタ」の開催場所を明記すべき（写真のキャプションにてわかりませんが、本文で明記すべき）。 このような取り組みは図書館に呼び込むきっかけになると思いますので、課題や改善提案も記していただくと幸いです。 申し込み不要のおはなし会はよい取り組みだと思います。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。
27	美原区	p.44	新型コロナウイルス感染拡大前（平成30年度）と比した利用（来館者数、貸出点数等）の減少が全館で最も大きい理由を高齢者増加、人口減少だけでなくもう少し詳細に説明した方がよいとおもいます。	年齢別の利用統計で平成30年度と令和5年度を比較しますと、子ども（0～14歳）の貸出者数が約60%、その保護者である大人（20歳～59歳）の貸出者数が約69%と減少が大きい状況です。（60歳以上の高齢者は約93%） 土日や祝日に多かった、車等を使って家族で来館するレジャー型の利用がコロナで一旦途切れてしまい、その間に子どもの成長などで生活スタイルが変わった方が一定おられると推測されます。 また、制限なしで図書館が利用いただけるようになった今年度、元々閲覧室の3分の1の場所では使えなかった空調機の調子がさらに悪くなり、暑い時期にほとんどの箇所でも冷房が効かなくなったせいか、5月から10月にかけて昨年度より利用が減少しています。 これらの複合的な要因があると思われるが、これが原因と言い切れる明確なご説明はできない状態です。 次年度からは空調機器の更新を終えてよい環境が提供できますので、今まで同様新規利用者の獲得に繋がる取組をしつつ、利用の回復が遅いのか、根本的な問題があるのかを分析していきます。
28	美原区	p.51	(令和5年度の取組総括)「また、アンケートの「本日は本や雑誌などをお借りになりましたか」の項目で、「本や雑誌を借りなかった」と回答した人が」 →「アンケートの結果、「本や雑誌を借りなかった」と～回答した人が～」に文面を校正した方がよい。	図書館サービス評価各区取組み状況(案)該当箇所を修正しました。

各区図書館の取組み状況（案）への評価まとめ

No.	該当頁	評価
1	全館	各地域の特色（傾向）にかかわった取組みが実施されているように見受けられることについてはとても良いことだと感じます。（シニア向けであったり子育て世代向けであったり、外国語を母語とする方むけであったり。）
2	全館	青年層へのアプローチを強めたいという意向を感じます。親子で来館する子どもたちが、一人で（または友人と）来館したいと思えるようになっていけばと思います。高校生や大学生が図書館を利用する際に学習室の利用は大きいと思いますが、大学生から、予約が必要であったりすること、スペースが狭く、資料、ノート、パソコン（タブレット端末）などを広げて使用しづらいことなどを声として聴いています。PCの利用がどの程度できるのかという問題もあろうかと思いますが、学習室とフリーWi-Fiの設置は青年向けには必要な設備であると思います。
3	堺区	ホームページが改善され、随分見やすくなった点を評価します。
4	中区	取組の様子が画像で確認出来るのは良いと思う
5	中区	課題設定から課題、改善提案までの流れが大変よく理解ができる記載内容で、一年間の取組みについてしっかりPRでき、課題も明確になっています。しっかりPDCAが回せているという印象です。
6	東区	しっかり目標達成に向かって取り組んできた状況がよく分かりました。定量的指標では、他の図書館が前年度数値を超えることが難しい中で、全ての指標で100%を超えているのは素晴らしいと思います。取組み総括で少し分析されていますが、利用者の特性やニーズ調査をして、今後の展開にも活かせるかと思いました。
7	東区	たくさん取組をされていて社会の変化にも考慮しながら市民の利用をうながしていると思います。青少年～子育て世代の利用拡大につながることを期待します。
8	西区	新しく設置された「学びと交流の広場」の利用が伸びていることや、中高生の登録利用者が増えていることなど、取組みの成果が出始めていることをしっかりPR出来ていてよいと思います。羽衣国際大学との連携の再開など新たな展開もあり充実した取組みであったことが分かりました。棚の除架を進め、司書の似顔絵を表示している取組みも面白いと思います。
9	南区	ボランティアの育成や、ボランティアとの協働での取組みが進んでいること、外国語資料の活用にあたって、他部署や他施設との連携によって充実した事業が実施できたことがよく分かりました。
10	北区	子育て支援や子ども読書に関して充実した取組みが行われたことがよく分かりました。北区の子育てフェスタへの参加で多くの子どもたちにサービスを提供することができたのは良かった。また、地域の歴史を理解してもらう写真展示と図書館フェスタの日程を合わせて、普段、地域の歴史を知る機会の少ない層にも見てもらえることができたことなど、工夫が感じられた。
11	北区	子育て世代の利用が多く絵本コーナー等も充実していると思う。
12	北区	p38-39 実際に参加した親子や児童から図書館でのイベントに、次回も是非参加したいと心待ちにされているお話を聞けたので、これからも継続して頂きたいです。
13	美原区	空調改修工事と並行してのサービスであったことや、連携先の都合で予定していた事業が実施できなかったことなど、難しい環境下での取組みであったことが分かりました。保健センターや子育て支援課などの連携によって図書館や読書推進につなげている様子もよく分かりました。課題もいくつか提示されているので、新しい空調が稼働することをきっかけに多くの来館者に来てもらえるよう、課題の解決策やアイデアを練っていくことができればと思います。